

7/22 超電導リニア鉄道に関する特別委員会（自由民主党）

静岡県知事発言

- 1 日 時 令和2年7月22日(水) 11:30~12:50
- 2 場 所 静岡県庁東館5階特別会議室 (Web 参加)
- 3 出席者 静岡県 川勝知事
- 4 会議の概要
 - ・ 自由民主党が、超電導リニア鉄道に関する特別委員会を開催し、関係する都県からリニア中央新幹線の整備に関する意見を聞いた。
 - ・ 初めに、リニア中央新幹線建設促進期成同盟会の会長である愛知県、続いて岐阜県、長野県、静岡県、山梨県、神奈川県、東京都の順で、各都県の状況等について、それぞれ5分程度、説明を行った。
 - ・ その後、出席議員との意見交換を行った。

5 発言内容

(静岡県知事)

近々、先生方が現場に見に来られることは大歓迎したいと思う。リニアについては、私は大推進論者である。何か私の言動が、あるいは静岡県が、リニアの足を引っ張っているかの如き、そのような風評がでていることを大変憂慮している。私自身の経緯を申し上げますと、橋本内閣のときから国土審議会の委員を20年近く務めてきた。従って21世紀の国土のグランドデザインも、また国土形成計画におけるスーパーメガリージョン、すなわちリニアの建設についても、その策定に当たった一人である。更に、JR東海の広報部ウェッジの研究会、20年近く副座長を務めており、そのようなご厚意もあり、小淵内閣の時には大月、甲府の間で実験線にも乗せて頂き、更に当時は中国の朱鎔基（シュヨウキ）さんがお越しになり、これが欲しいと言われていたという噂があったため、現場の方々の声を聞き、当時経済企画庁長官であった堺屋太一先生に、これは日本にとって重大な、技術的なシンボルであるから、絶対に中国に譲るようなことのないように、小淵先生にもお伝えくださいと言った経緯もあった。そして2011年、ルートが決まった、その時一番最初に現場に入ったのは恐らく誰よりも早く私である。この連休の時には、南アルプスの現場に参って、そして二軒小屋からさらに500m上がった、転付峠のところから、そのルートを見て、更にトンネルから相当な残土が出るということで、残土置き場も、更にもう一度秋に訪れて、残土置き場を提示していたのが、この私である。私自身は、まさかりニアが静岡県を通るとは、その直前まで知らなかったという経緯がある。知事になるまでは、東京から神奈川、山梨、長野、岐阜、愛知を経て、三重、奈良、大阪に至るというふうに思っていた。しかし、ありがたいことに静岡県を通るということで、歓迎をしたものである。しかも、リニアが通ると、のぞみ機能がリニアに代わるので、ひかりとこだまの本数が多くなって、ひかりと

こだましか止まらない静岡県ではベネフィットが多いということで、そういうことを県民にも説明していたほどでもある。そういう中で、環境大臣意見あるいは国交大臣意見が出て、地元の理解を得る様にとということで、私自身も知事意見を出さねばならない、そして分かったことがある。それは静岡県の62万人の水道が全て大井川に。それからまた、産業用水、工業用水、農業用水等が19年もかけて、平成11年から、平成29年にかけて600億円近くをかけて、牧之原台地に灌漑が出来たということ。それから、大井川はかつては越すに越されぬ大井川と言われた訳だが、実際は平成30年は、節水を140日以上お願いしていると、3日に1回は節水をお願いしなくちゃならないくらい、水が不足しているというのが現状であって、あるいはサッポロビールとか、磯自慢とか、こうしたものは皆地下水で、地下水に依存している企業の数が440社、しかも井戸は1000本以上ということで、一滴の水も譲れないということがあって、これは一大事だということで、JR東海に一滴の水も必ず戻して下さるようお願いしたところ、4年半ぶりに、2013年に知事意見を出したが、返事が返ってきたのはなんと2018年のことであった。それから、専門部会と言って、学者先生に地質あるいは生態系、これを調べていただいて、JR東海と意見交換をすると、なかなかデータが出てこないの、皆様にご心配おかけしたところ、国交省の方で、有識者会議をして下さるということで、今有識者会議で、本当に水が戻せるのかどうか、なけなしの水をちゃんと静岡県に戻せるのかどうか、実は静岡県民、この命の水に対しては一滴も譲れない、何とか皆様方、この水を取らないで下さいという、必死の思いがあって、その思いを私は受け止めて、ここで皆様方にご理解いただきたいと言っているところ。今は有識者会議において、はたして生態系、水循環、水資源、これがきちりと静岡県民に安心して届けられるかどうか、この議論を賜っているところなので、何卒先生方におかれては、この議論に対して、JR東海から正確な科学的データが出れば、それによって自ずと結論がでてくる。それから現場、私昨日行って参ったが、静岡県から80kmぐらい先のところにある。そして、山の中に入って25kmくらい行くと、ようやく林道に出る。その林道から、これは畑薙ダムというところだが、そこから27km先に西俣ヤードというものがある。この林道は、今年の台風19号でズタズタになった。この7月の豪雨で、またズタズタになり、私昨日入ったら何と27kmのうち、畑薙のダム、沼平とも言うが、そこから3.8kmのところまでしか行けない。もともと林道は崩れていたが、河川の中に、河原に作られていたその道も、車が通れる状態ではなくなっており、今人っ子一人現場にはいない。そういう状況になっているということである。何卒この有識者会議等を通して、また静岡県がやっている、科学者による検証を通じて、この問題について科学的見地から解決が出来れば、何も反対する理由はないということで、私は大村知事をお願いをして、建設期成同盟会に入れてくださいと言ったのは、それまで静岡県が、まさか通ると思っていなかったのが建設期成同盟会に入っていなかった。これは新しい事態であって、私自身も文字通り全く知らないのが、ルートが決まってから初めて、この水の問題の極めて重要で譲れないという認識になっているということで、この点ご理解を賜りたいと、

切に願う。

(議員)

- ・質問①：有識者会議の結論が出たときは、それをしっかり受け止めて静岡県のみなさんに説明いただけるのか。
- ・質問②：工事で一時的にも静岡県の水が失われるのであれば、田代ダム等の水を大井川に戻すことで御理解いただくことはできるか。

(静岡県知事)

まず第一点目であるが、現在、有識者会議において、静岡県の専門部会、これは地質・水資源専門部会と、生物多様性専門部会というのがある、2年余り、JR東海と議論を重ねてきて、どうしてもJR東海からデータがいただけない47項目について、有識者会議で議論を賜っている。そこには錚々たる先生方がいらっしゃる、その先生方が出される結論、これは、現在、コロナにおける科学者の意見を大切にしないことと全く一緒で、これは、最も尊重すべきことで、そのことともう一つ、これを地域住民にわかりやすく説明すると。そのためにこちらは専門部会というもので、10人余りの先生方にご就任賜っている、その会議は全部公開にしている。有識者会議の中身についても、大変多くの方達が関心を持っているが、なにぶん、一部情報が出にくい形になっているので、その点も併せて有識者会議における結論は、100%尊重するというのが科学者に対する我々の態度で、しかし、それをどういうふうに説明するかというのも、また、あるので、まずはこの有識者会議の行方をしっかりと見守りたいというのが県の立場である。

二つ目の、田代ダム。これは、早川町に流れているもので、長い歴史があって、私も、早川町に立派な町長がいるが、この件について、激論をしたこともあるが、これはこれとしてきちっとした取り決めがある。それから、水の量だけではなくて、2014年に南アルプスがユネスコのエコパークになった。したがって、流量だけでなく、水質、生態系、さらに残土置場、こうしたものについても、47項目がある。流量だけ、早川町に流れているものを取り戻すといって、それで全部が解決するものではないというふうに考える。

(議員)

- ・質問①：静岡県の有識者会議の結論を尊重するということがあったが、国の有識者会議の結論に対してはどのような立場か。

(静岡県知事)

言うまでもない。国の有識者会議には、静岡県の専門部会のそれぞれ代表が2人、入っている。その先生方が、今度は静岡県がずっと出した項目が47項目で、この47項目について、有識者会議で議論されているので、これを持ち帰って、この専門部会で議論していただき、同時に、それは全部、地元には公開しているものである、地元のみなさんが、これを納得すれば、科学的な議論

であるので、できる限り丁寧に説明していくことを通して、有識者会議の結論を活かしていきたいと思っている。

(議員)

- ・質問①：知事が建設期成同盟会に入ることになれば一つの進歩であると思うが、その点について確認する。
- ・質問②：JR東海が責任を持って何年間で終わるということではなく、県民が安堵するということであればよろしいか。

(静岡県知事)

まず、昨年6月、建設期成同盟会の大村知事に、正式に、ぜひ入れてくださいと申し上げたが、今、ずっとペンディングになっていて、このたび、先生から、ぜひ入るべきと言われて大変喜んでいる。ぜひ、入れてくださいませ。

それから、安堵するというのは、その通りである。基本的に、水が戻るといふことでなければならないと。どうして、どういう技術で、どういう根拠で戻せるのかということさえ、科学的、技術的な根拠によって、住民60万人以上の方達にわかるようになれば、それで済むというふうに思う。水の問題が解決できれば大団円になると思う。